

本から見える子どもの力と「明るい未来」



お話 赤木かん子先生（児童文学評論家）

- 日時 7月28日（月）17：00～18：00
- 場所 奈良市あやめ池南 奈良暮らしスタジオ
ご予約完了時に住所詳細をお伝えします
- 参加費 3,500円 ※オンライン3,000円（1週間アーカイブあり）
終了後ご希望の方は食事会あり 別途1,500円
teketでお申し込みください <https://teket.jp/5905/52543>



子どもは、何を見て、何を考えているのでしょうか？

児童書は、その答えが見つかる一つの現場です。「こんな本を読みたい」と子どもが求めるイメージは、物語だけでなく、図鑑や理数系の解説、マンガなど、多岐にわたります。また子どもの読み物とされる児童文学は、200年ほど前に書かれた名作から最新刊まで、自分の居場所・家族・大人への反抗・虐待・戦争・恋愛・自分を取りまく環境の乗り越え方など、子どもの「皮膚感覚」から様々に世界を描いています。

長年、子どもの本と関わってこられた赤木かん子先生に、本の世界から見える今の子どもたちのお話を伺います。未来を見通すヒントも得られるかもしれません。

児童文学を好きな方、読んだことのない方、どなたもどうぞご参加ください。